

**No.2000**

2月27日例会	プログラム	「ユニバーサルデザインって何？」	NPO法人まちづくり推進機構岡山	理事	徳田 恭子様
3月6日例会	プログラム	「日本人の知性と感性」			森 学様
2月27日のメニュー ・白身魚の春野菜アン掛け ・シーフードと緑豆の塩炒め ・シューマイ ・味噌ラーメン ・赤米ごはん ・コーヒー					

**前回（2月20日）例会記録**

出席報告	会員総数	32名	出席者数	23名	欠席者数	9名	出席率	71.88%	前回補正率	93.75%
	前回補正者	三宅(照)君 仲田君 富永君								
	欠席者	林君 東川君 井上君 大西君 小野君 島田君 白石君 上原君 山田(次)君								

来 訪 者 富 道雄様（大阪リバーサイドロータリークラブ）

**会長挨拶**

本日はゲストとして、お久しぶりに大阪リバーサイド RC から、富道雄様が出席されております。古巣に帰ったつもりで、どうぞゆっくりして下さい。本日は、先週のお話しの続きとして、経済のお話しをしたいと思います。今回の経済危機について、年内の回復は可能であろうとお話し致しました。2月17日(火)の日経にエコノミストの景気底入れ時期として、10人中半数の5人の方が年内可能との予測でした。回復について一番早い方は2009年の4~6月の4半期には、底入れするだろうと予測しております。在庫調整の進展が前提との事ですが、少し早いかな？と思います。しかし、年内の底入れは間違いないだろうと自分なりに納得しております。ちなみに、底入れ時期を2009年4~6月と予測した方は1名、2009年7~9月が2名、2009年10~12月が2名の方々5名です。残りの方は、2010年度中が4名、2010年度以降が1名でした。希望的観測としても、年内底入れは間違いない！そして同時に底入れ時期が年内であって欲しいと私は思っております。

**幹事報告**

- ・ 葛尾ガバナー・エレクト事務所より次期会長宛に会長エレクト研修セミナー（PETS）グループディスカッションのアンケートのお願いが届いております。
- ・ 財団法人ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま108号」が届いております。
- ・ 3月のロータリーレートのお知らせが届いております。1ドル=90円
- ・ 国際ソロプチミスト玉野より40周年記念誌拝受のお礼状が届いております。
- ・ 岡山県聴覚障害者福祉協会玉野支部並びに玉野手話サークルより定期総会のご案内が届いております。  
日時：平成21年3月15日(日) 9:30~ 場所：日の出ふれあい会館
- ・ 2月14日(土)岡山東ロータリークラブの創立40周年記念式典・祝宴に会長と幹事が出席して参りました。
- ・ 2月22日(日)岡山北ロータリークラブの創立40周年記念式典・祝宴に会長と幹事が出席して参ります。
- ・ 他クラブの週報・例会変更通知は回覧させていただきます。

**委員会報告**

- ・ 社会奉仕委員会（谷口委員長）：岡山旭川 RC の富岡会員様がエコライフ玉野の活動について勉強したいとの事で、16日においでになられました。三宅保昭会員と榎田会員にもご協力を願ひまして、対応をさせていただきました。先週の臨時理事役員会で決定させていただきました、「ほほえみマリン大使」の募集ポスターが出来上がり、本日配布させていただきました。是非、お持ち帰り頂ひまして各事業所にお貼り頂ければと思います。
- ・ プログラム委員長(岸本委員長)：2月17日(火)に仲田正幸会員が岡山岡南 RC で卓話をされました。

**スマイル・ボックス**

- ・ 富様 - 久しぶりのメイクアップです。いつもマリンホテルが皆様にご支援頂きましてありがとうございます。
- ・ 緋田会長、高橋(秀)幹事、藤田君、松尾君、三宅(照)君、富永君、三宅(孝)君、谷口君  
- 富様、ようこそいらっしやいました。

- ・仲田君 - 卓話記念。
- ・石川君 - 週報 2000 号記念。記念すべき号を担当させていただきます。感動しております。

プログラム 「人間の能力と成果」 仲田 正幸君

前回の私の卓話はもう2年以上も前のことです。今回は準備に少々手を抜きまして、若い社員向けに社内です話した内容の焼き直しで行きたいと思います。ここにいらっしゃる皆さんはそれぞれ企業なり団体の経営者、管理者、指導者ばかりですが、今日は若い社員になったつもりでお聞き頂ければと思います。もし使える部分がありましたらどうぞご利用いただければ幸いです。

さて、最初は綱引きの話であります。テレビで綱引きのチャンピオンチームを見たことがあります。女性の日本一チームであったと思います。もう10年以上も前のことだと思います。番組名も覚えていないのですが妙に感動した記憶だけが残っています。一見普通のおばさん達でした。そのチームの実力をアピールするために、筋骨隆々のプロレスラーのチームと綱引き勝負をさせるという企画でした。プロレスラーチームが勝てば面白くもなともありません。結果はもちろんおばさん達の勝ちです。腰を落として、足を伸ばして、引くときは引く、耐えるときは耐える、全員が見事な姿勢で統一が取れていました。一方のプロレスラーチームは体力的には明らかにおばさん達を圧倒していましたが、俄かに編成されたチームでしたので統一性を欠き、大男が力任せに大声で喚きながら銘々がバラバラに綱を引いていました。チームとしての総合力を出しきれなかったのだと思います。綱引きを見ながら、なるほど組織の総合力というものは こういうものなのだという実態を目の当たりにした思いでした。一人一人の能力、技量がいかにも高くても、個人個人の思いがバラバラでベクトルが合っていないければチームとして、組織として高い総合力を発揮することは出来ません。会社に置き換えれば、会社のミッションと基本方針を従業員みんなが認識し共通の目標に向かって全員の力を集結できれば強い会社になります。管理者の立場から言えば、ビジョンと基本方針を明確にすることが重要で、それを受けて従業員一人一人が自分のミッションを自覚し共通の目標に向かって力を結集することが大切です。ベクトルを合わせて、必要な作業標準やマニュアルを整備し、共に成果を喜び、改善の為に知恵を出し合い、時には共に悩み・苦労を分かち合う。このような組織になれば強い会社になります。

次に の効能についてです。

薬でもないのに すると元気になる  
すると勇気が沸く

照明器具でもないのに すると明るくなる  
すると名前を覚えてもらえる

ここまで言うともうお分かりの通り、 とは挨拶です。皆さんを子供扱いしているわけではありません。いくつになっても挨拶の効能というものには変わりありません。挨拶には手品のような効能があります。「おはようございます」、「こんにちは」、「お願いします」、「ありがとうございました」など、声を出すだけで勇気が出ます。活力が沸いてきます。顔と名前を覚えてもらえます。すると自信が沸いてきます。声を出すことはコミュニケーションのスタートです。元気な挨拶は職場全体を明るくします。このように挨拶には不思議な効能があります。手品のような挨拶の効能を覚えておいてください。

次に 挨拶とも共通しているところが多いのですが、人を元気にするストロークについてお話します。人間の精神状態を分析、理解する技法に「交流分析」というのがあるようですが、詳しいことは私には説明できませんが、交流分析では人の存在や価値を認める働きかけというのがあり、「ストローク」と呼ばれています。ストロークには陽性のストロークと陰性のストロークがあって、陽性のストロークを発すると人は元気になるというものです。理屈っぽい言い方ですが、実際は 難しいものではありません。

こちらから近づく	ポンと肩をたたく	ちょっと声をかける
しっかりとうなづく	笑顔であいさつする	じっくり耳を傾ける
きちんと返事する	ほめる 上手に叱る	ありがとうと言う
励ます	慰める	しっかりと握手する
どこで会っても	やあと言う	遠いときには手を振り合う

このような小さな行為の一つ一つが陽性のストロークを発します。これに対して、近づいてきた人を避けるように遠ざかったり、話しかけられて返事もしなければ陰性のストロークを発して、人は暗い気持ちになってしまいます。陽性のストロークをどんどん発して職場を明るく元気にして欲しいと思います。

次に人間の能力についてです。人間の能力には色々ありますが、大きく分類すると、体力、知力、気力、胆力（物怖じしないこと）に分けられます。勿論、これらの能力には個人差があります。体力や知力の個人差はせいぜい2~3倍であります。

例えば、100m走

10秒ならオリンピックで金を争えますが、たいていの人なら20秒台、30秒もあれば私でも走ることが出来る

でしょう。

ハイジャンプ

1m程度なら我々にもなんとか飛べるでしょうが、その3倍の3mも飛べば、金メダル間違いなし。

IQ (知能指数です)

平均値は100で、70~130の間に95%の人が収まっていると言われていました

一方、**気力や胆力の差は20倍30倍、100倍あるかも知れません。**極端に言えばやる気満々の人と全然やる気のない人ではその差は無敵大であります。

申し上げたいのは、「**知力、体力も大切だがそれ以上に大切なのは気力、即ちやる気ですよ**」ということです。

ここで、ちょっと英語の勉強です。

Difference between possible and impossible is...???

可能と不可能の違いは何か! determination です。やる気、決意です。

**為せば成る、為さねば成らぬなにごとも、為らぬは人の成さぬなりけり**(上杉鷹山)という言葉もあります。

そこで、最後に 次の算式を覚えていて欲しいと思います。

**成果 = 知力 × 体力 × やる気**

**体力・知力も大切だが限度があります。気力と胆力は心の持ち方次第で人の何倍にもなります。成果として現れるのは知力や体力と気力・やる気との掛け算。足し算ではありません。**

いくら知力が高くても気力、やる気がなければ掛け算すればゼロであります。

知力を補うのが作業標準やマニュアル、上司や先輩の指導であります。成果は知力・体力と気力・やる気との掛け算、これも覚えていてください。

整理しますと：

- ・共通の目標に向かって力を合わせる事が大切であること
- ・挨拶には手品のような効果があること
- ・成果は知力・体力とやる気の掛け算であること

以上3点についてお話をさせていただきました。ご静聴ありがとうございました。

週報 2000 号発行にあたり会報委員会より一言

\*週報 2000 号を担当させて頂きましてありがとうございました。諸先輩方の長年の積み重ねの功績、重みを感じながら今週は作らせて頂きました。会長挨拶、卓話におかれましても、2000 号に相応しい、初心に帰れるお話であったと心より感銘しております。小さな文字ではありますが、玉野 RC の例会をありのままに伝えていければと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。